

会員投稿

## 『過去帳』

新田町 佐藤 勇

過日秋田へ帰省したとき私が帰るのを待って、仏壇を新しくし入魂式をするということで立ち会った。古い仏壇から新しい仏壇に入れるのは、過去帳と20人分位の位牌を整理して改めて追加制作した新しい過去帳にした。古い過去帳を見ながら兄貴が「この一番先に記帳されているのが多分この家の初代だと思うが、今から何年くらい前で時代背景はどうだったか調べて教えてくれ」と言うので調べてみた。

過去帳によれば、初代吉郎エ門が歿したのは正徳2年である。これは西暦でいうと1712年で今から291年前に溯ることになる。時の将軍は6代家宣であるが、正徳3年には7代将軍家継が継承した。

初代吉郎エ門が25歳で佐藤家を興し、55歳で歿したとすれば更に30年溯って321年前、西暦1682年に佐藤家ができたことになる。徳川家康が豊臣家を滅ぼしたのは元和元年（西暦1615年）だが、徳川政権が安定するのは3代将軍家光が家督を継いだ、寛永3年（西暦1623年）頃からと考えられ、世の中が最も安定した時代に、佐藤家ができたことになる。しかし、吉郎エ門が生きた安定した30年間に、日本を揺るがす有名な赤穂事件が勃発したのである。

即ち、

- ◎元禄13年（西暦1700年）12月徳川光圀歿す。
- ◎元禄14年（西暦1701年）3月浅野内匠頭、吉良上野介を斬りつける。
- ◎元禄15年（西暦1702年）12月浅野家家臣、吉良邸襲撃上野介を討取る。
- ◎元禄16年（西暦1703年）2月浅野家家臣切腹を命じられる。

歴史や勝負ごとにもし…してたら、とか、もし…していれば、は通じないが敢えて徳川光圀没年を挙げたのは、もし光圀が生きていたらこの事件は起きたか、起きても結論は違っていたかも…などと思ったから。

吉郎エ門が遠い江戸のことをどのように感じたか聞く由もないが、豊かな時代、貧乏な時代、その間に戦（戦争）があり、飢餓もあっただろうけど、延々とまあよく続いたものだとつくづく思うが、不真面目な祖先もいて長期に渡って欠落している時期もあり、現代何代目か推定することは難しいのが残念。以上

